

## 申第27号に対する窓口説明 リニア談合事件に関する申し入れ 会社は捜査中を理由に口を噤む！

会社は1月29日、申第27号について、窓口での説明を行いました。

申第27号は、リニア談合事件に関する申し入れです。しかし会社は捜査中を理由に具体的な回答をしませんでした。本部は、リニアに絡む重大な問題であるため、捜査中であろうとも早急に労使協議を開催するよう追及しました。

### 申第27号(12月12日申し入れ)

#### リニア中央新幹線建設工事の「不正入札」報道に関する申し入れ

マスコミは「リニア中央新幹線工事で不正入札が行われた疑いがある」として、東京地検特捜部が偽計業務妨害容疑で大手ゼネコン・大林組本社を捜索した」などと報じた。さらに、「工事発注元のJ R 東海社員が工事費に関する情報を漏らした疑いがある」などとも報じられた。これらの報道が事実ならば、経営上重大な事態だと考える。

従って、以下の通り申し入れるので経営協議会を開催し、説明すること。

#### 記

1. 報道では「大手ゼネコンを中心とした4つのJVがほぼ均等に工事を受注している」とされている。このことに関して、会社として不審を持たなかったのか明らかにすること。
2. 不正入札に関して、大林組と共にJVを組んでいるジェイアール東海建設の関与はないのか、明らかにすること

3. 会社として偽計業務妨害行為に気づき、捜査当局に申告したのか明らかにすること。
4. 不正があった可能性があるすべての工事契約の名称と、入札方式を明らかにすること。
5. 情報を漏らした疑いのある社員に対する事情聴取の状況を明らかにすること。
6. 会社が社内に設置した「公正契約等調査委員会」の役割について明らかにすること。
7. 財政投融资を活用した事業での不正が事実ならば、単にJR東海と大林組の問題にとどまらなないと考える。会社の見解を明らかにすること。
8. 偽計業務妨害容疑の一連の捜査がリニア中央新幹線の建設の工程に与える影響を明らかにすること。
9. オリンピックを控え、また自然災害からの復旧工事などで全国的に労務費が上昇し、建設資材も高騰しているとされている。とすると、リニア中央新幹線の総工費は9兆円を大きく上回ると考える。会社の見解を明らかにすること。
10. 犯罪行為の究明もなしにリニア中央新幹線建設推進は認められない。また、総工費の負担増で労働条件がますます悪化すると考える。直ちに建設を中止すること。

### 【会社回答】

本件については、現在捜査中のため経営協議会は開催しない。

1. 現在捜査中のため回答は控える。
2. 現在捜査中のため回答は控える。
3. 現在捜査中のため回答は控える。
4. 現在捜査中のため回答は控える。
5. 現在捜査中のため回答は控える。
6. 契約手続きにおいて、公正な契約が疑われる状況であることから、坪内専務執行役員を委員長とする、調査委員会を設置した。  
まずは、契約手続きに関して、事実関係の把握に努める。

今後の工事契約について、当分の間、社内規程等に則り契約が適正に行われていることを確認する。

内容については、捜査や契約に関わることであり、回答は控える。

7. 仮定の話には回答しない。

なお、財投を活用した借入をしても、当社が自己負担で、経営の自主性を持って取り組むことに変わりはない。

8. 既に発注済の工事は予定通り進めろ。

また、工期に影響がでないように着実に進める。

9. 中央新幹線計画は健全経営を維持しながら実現する。

10. そのような考えはない。

#### 《主なやり取り》

組合：捜査中だから協議をしないのか。

会社：そうである。

組合：捜査が終われば改めて協議をするのか。

会社：そのようになると思う。

組合：リニアの問題は重要な問題である。捜査中であって組合にきちんとその進展も含めて明らかにすべきだ。早急に協議を行うよう求める。

以 上